

シテ漸クコレヲ取り止メタト開ク。吾々ハ断ル無情ニシテ社會ノ進會ヲ解セラム。今ノ政府、
公認セントスル勞働組合ヲ暴力的行動ヲ以テ撲滅セントスルガ如キ人物ヲ工場長ヒテ空
心シニ工場ニ勤務スル事ハ出來ナイニシナラズ全社ノ将来ヲ危険ナラシム。且つ、初、社長
上京召促シ事情ヲ述バ高村ヲ辭任セシム。キガ至富士ノ事ア訴
杜長ハ意氣ニモ「社長、信スル行為ニ對シニ職工、谷啄スル所ニテラス」
情狀ヲ思フ切ナル訴ニ對シテ一考ダニセズ拒絕シテシタタ而シテ高村
の行爲ヲ善良ナルが如ク稱シテ居ル、デル。

諸君吾々ハ現在、社會ニ赤タ曾ツテ斯ル暴虐ナル資本家アリニテ連合ア
スル無暴ナル工場長、下ニ傳クトキハ吾々、生活、前途、金々暗黒アリ。且つ、
心シニ傳クト事ハ出來ナイ、アル故ニ吾々ハ余義ナク罷業ヲ宣シ其ト正直に對付スル
實徵スルマニテ戰フコトヲ聲明シ賢明ナル市民諸君、批評ニ斯ル可憐、御心付セシム。
軍械工ニシテナク組長職工長工場專務、同意見ルヲ附記ス
一九二五年三月日本建築工業株式會社從業員
議團本部 蒲田新宿五七五

日本勞働總同盟東京鐵工組合蒲田第三支部

勞働第一一七八號

大正十四年九月十四日

警視總監 大田 政三

内務大臣若槻禮次郎殿
社会局長官長園隆一郎殿
京都 大阪 神奈川 千葉
愛知 兵庫 福岡
各府署長官殿
東京地方裁判所檢事正殿

日本建築工業株式會社勞働會議(大正十一年一月二日)

14.9.16.
第56号